

公立学校共済組合 関東中央病院における看護職員負担軽減計画

令和7年3月現在の看護師の勤務状況	
1. 病院規模	一般病床：383床
2. 看護師数	312名
3. 月平均超勤時間	6.5時間
4. 当直回数	平均月4回（一般病棟のみ）

目標
当院では、看護師の勤務状況を把握し、各部門（診療部、薬剤部、医療安全、検査、放射線等）の協力体制を整え、さらに各部署の役割分担を周知させ、看護師の定着、業務軽減を努めていく事を目標とする。

	項目	令和6年度までの取組	令和7年度までの目標	達成手順	達成状況	
					令和5年度	令和6年度
1	看護部	看護補助者の配置と教育	病棟の業務量により、早番・遅番などの勤務体制づくり。 部署間の応援体制による業務の平均化 夜間看護補助者（ナースエイド）の配置により、夜間の患者の安全が保持される。 療養生活上の世話を実施する体制作りを行う。	患者人数、看護必要度等のデータをもとに患者のニーズに合わせた人員配置・業務内容とする。 ナースエイドの採用と定着支援。	80%	80%
2	看護部	専門・認定看護師の業務を整備し、医師への周知と業務分担を図る	専門看護師・認定看護師の配置により、看護師の教育・業務のサポート体制強化。 専門外来の強化。 スペシャリストラダーによるレベル毎の活動範囲と権限の明確化	毎月専門看護師・認定看護師の業務報告を行うとともに、医師・看護師における活用の推進を図る。	100%	95%
3	看護部	看護提供方式の評価および再構築	固定チームナーシングとペア制を充実させた看護提供方式によりチーム機能を発揮し看護の質向上につなげる 1) 身体的拘束の縮減 2) 褥瘡予防対策の推進 3) 入退院支援の推進	計画的・安定的な人員配置を行う新たな看護提供方式に見合う職場環境づくりの支援を行う。	80%	80%
4	看護部 医事課 薬剤部	入退院支援センターの活用による入院業務の軽減	予定入院患者の入院前情報収集とオリエンテーションの実施 診療内容の理解促進とACPの実施 アセスメントによる多職種介入	入院時アセスメントチェックによるリスク患者の把握 診療に関する患者家族との共通理解 診療・入院生活に関する不安の軽減 退院後の生活を見据えた多職種による支援	80%	100%